NPO法人 BFN
会　報

第7号
発行日 2011.12.10

＊『ジャイモシ』ネパール語で「主（神）を讃美しましょう」の意

ソーラープロジェクトの実現に向けて
～NHAのソーラー化計画～

昨年の11月に初めてネパールの地に立ち、NHAにソーラーパネルを一枚贈呈することができました。仕事の関係から太陽電池に興味を持ち、国際NGOに無料で手作りソーラーパネルを贈呈するソーラーネットというNPO法人の存在を知りました。BFNを通してNHAに贈呈できることが分かり、ネパールに持って行くことができました。

今後のNHAのソーラー化計画について述べたいと思います。

この時の訪問は、第1ステップであり、教材としてのソーラーパネルの提供で、子供たちが実際のソーラーパネルに触れることでした。子供も先生も参加し、とても好評であり、成功のうちに終わりました。

第2ステップは、贈呈済みのパネルに3枚のパネルを追加して、NHAの非常電源システムを組み、実際に設置するところまでを行うことです。1枚の出力は40Wと小さいですが、4枚であれば、160Wの出力が得られるのでインバーターを介して、非常用電源として充分に活用しうる電源となります。NHAをソーラー化することは、非常に重要な意味があります。単に完成品を提供するだけでなく、NHAの先生と生徒が一緒になって、勉強しつつ、ソーラーを活用することによって、教育的意味を持たせることができます。そのためには、生徒たちが電気の知識を身に着け、工夫し、活用し、メンテナンスができるようになるまで指導しなければなりません。

第3ステップは、生徒たちが自ら必要とするだけのパネルを製造することです。日本では、電線が張り巡らされているため、太陽電池は、環境系代替エネルギーとして注目を受けています。しかし、ネパールでは電気のインフラが整っていませんので、太陽電池により生みだされた電気は、そのまま教育環境や生活環境を底上げします。加えてネパールの年間日射量は、日本の1.6倍と非常に多く、電気を太陽により生みだすことは、大いに意義があります。

しかし、これを実現するには、資金の問題、指導の問題など多くの問題が壁のように立ちはだかっています。NHAの代表相談役であるチェ・グンミン氏から、「ステップ・バイ・ステップ・・・（一歩ずつ祈りながら進めていきましょう。）」と励ましを受けました。

このプロジェクトを通して生徒たちには、何事も受け身ではなく、自主的・自発的に活動することで自らの可能性を広げていくことを体験してほしいと願っています。NHAの生徒たちがキラキラとさらに輝くことを願いつつ、神様が扉を開かれている限り関わり続けていきたいと思います。

支援者の皆さまにも是非このプロジェクトを覚えて祈っていただくようお願いいたします。

皆様の上に神様の豊かな祝福がありますように。

ＢＦＮ正会員　　**平岡　真実**

NPO法人　ブリッジズ・フォー・ネパール（BFN）
事務局：〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町３丁目１番４号（鬼頭宅）
Tel/Fax　072-695-0513
URL : http://www.npo-bfn.org

目次:

ソーラープロジェクトの実現に向けて 1
教室新設の感謝と報告 2
PENによる家庭訪問の報告 3
ビジョンキャンプに参加して 3
アシュミタ・シュレスタの日常生活 4
質問箱 5
「一人で二人の子供は支援できないの？」
「BFNは支援しても税金の免除にならないの？」
ネパール豆知識 5
「トレッキングにパスポートがいる？」
支援者状況（'11年4月～'11年9月） 6
新規に支援される子供たち（'11年4月～'11年9月） 6
新中期目標（5年計画） 6
長期ビジョン積立金 6
NHAがホームページを開設しました 6

ハイライト：

教室新設の感謝と報告
NHA校長ピーター・マハリャン
（2ページに写真を掲載）

PENによる家庭訪問の報告
レッカ・マハリャン
（3ページに写真を掲載）

ビジョンキャンプに参加して
（3ページに写真を掲載）

アシュミタ・シレスタの日常生活
（4ページに写真を掲載）

NHAがホームページを開設
（6ページに掲載）

教室新設の感謝と報告

前学期、元あった建物の3階に十分な大きさの2部屋を増築しました。増築が完成するまで、2011年3月中旬から5月末にかけておよそ2ヶ月半がかかりました。生徒数が増加し、教室が足りなくなり、各教室は全生徒を収容するために詰め込み状態でした。そういうわけで教室が差し迫って必要となりました。

ＮＨＡに教室を増築するための資金がありませんでした。そこで私たちはＢＦＮに切実に要望することになりました。ＢＦＮの十分な経済的支援は私たちの必要を満たしてくださいました。私たちＮＨＡに関わる全ての者たちはこの貢献に対して感謝し、親切を決して忘れることはありません。

2部屋のうち、1部屋は学校の所有者に与えることにしました。その1部屋を与える代わりに、私たちが使えるように右端の１階２階の2部屋を明け渡してくれました。1部屋を彼に与えることにより、私たちの校舎と彼の居住空間を分けることができました。

新教室での授業風景

現在私たちは生徒たちのために十分な教室を確保し、生徒たちは新しい教室を得て大変喜んでいます。1教室は10年生のための教室とし、もう1教室はボランティアの教員たちの部屋とし、ＮＨＡで彼らが奉仕する間に滞在に必要な基本的なものを備えることができました。

2教室が増築されたことにより、生徒たちに十分な空間を与えることができました。学校の外観がより素晴らしいものとなりました。隣接する右側の全ての建物を借りることができ、校舎が非常に素晴らしい外観を持つことになりました。これはすべてＢＦＮの経済的支援によるものです。ＮＨＡの教職員、また生徒一同、素晴らしい校舎の外観と便利さを非常に喜んでおります。非常に貴重なこの貢献に関し、全てのＢＦＮに関わる方々に対し、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございます。

NHA校長　**ピーター・マハリャン**

PENによる家庭訪問の報告

PENの職員、レッカ・マハリャンと申します。昨年よりPENで働いています。日本のBFNから奨学金をいただく生徒たちに関わることができ、非常に嬉しく思います。生徒だけでなく生徒たちの保護者とも関わります。BFNの奨学生たちがよりよい成果を上げることができるように、生徒たち一人一人と学習や個人的なことも含め、話をします。またPENから生徒たちの保護者に電話をし、彼らと親しくなるために家庭訪問をします。

放課後生徒と一緒に家庭訪問をします。この時間は新鮮で保護者の方々と話をすることができ、非常に嬉しく思います。学習についてだけでなく、家庭での生活、物質的また経済的状況についても話をし、BFNからいただいている奨学金について説明をしています。彼らと親しくなることは非常によいことです。彼らと内面について話をする際、私はとても喜ばしいことだと感じます。時々福音を語り、日曜学校に生徒たちを招待しようと試みています。PENで働く機会を持つことができて喜んでいます。

生徒たちの保護者は子供たちの教育に非常に熱心だと感じます。子供たちを支援してくださることについて里親の皆さまに大変感謝しています。生徒たちの多くは貧しい家庭環境にあり、学費を支払うことが難しい状況です。多くの保護者がもし奨学金がなければ子供たちを学校に通わせることはできなかっただろうと言っています。子供たちに奨学金を与えてくださり、日本のBFNの皆さまに感謝の気持ちをしばしば表しています。

最後に、私たちの国に愛を示し、親切な支援をしてくださることによりネパール社会の一員となってくださっているBFNと全てのスポンサーの方々に感謝の気持ちを私もお伝えしたいと思います。生ける神がいつもあなた方を祝福してくださいますように。ご支援ありがとうございます。

PEN職員　**レッカ・マハリャン**

ビジョンキャンプに参加して

ジャイモシ。今回私が参加したビジョンキャンプについてご紹介したいと思います。

ビジョンキャンプはNHAの子供たちを対象にしたバイブルキャンプです。「子どもたちにビジョンを与えること」を目的に、今回で8回目の開催となります。5,6学年、7,8学年、9,10学年の3つのグループに1回ずつのキャンプを行い、約300名の生徒が参加しました。

スケジュールは賛美、メッセージ、クイズ、文化交流、工作、ビジョンチームのプレゼンテーション等です。

賛美の時間はどの学年の子供たちも楽しそうに踊りつきで歌っていました。日本では見られない光景です。文化交流では韓国の遊びを学び、ネパールの子供たちも伝統舞踊を踊りました。初の試みですが、ネパール文化の素晴らしさを確認する目的で「ミス・ネパールコンテスト」も開催されました。ビジョンチームの女性メンバーがネパール伝統衣装を着て美と教養を披露するのです。当然私も参加しました!!

聖書メッセージは毎回1時間です。罪、裁き、十字架のメッセージを子供たちは真剣に聞いていました。多くの子供たちが偶像崇拝をやめることに同意しました。しかし、集会に行くことを親は許そうとはしません。集会に行き始めても家族からの迫害に遭ったり、行きたいけど迫害を恐れていけない子供もいますので祈りが必要です。しかし、イエス様を信じてバプテスマを受ける子供も出ています。

今回はポカラにある学校でも5-9学年の約500名を対象に2日間のビジョンキャンプを行いました。放課後の16:30-18:30の2時間でしたが、遊び、メッセージを聞く時間がもたれました。子供たちからも校長先生からも是非来年も来て欲しいと言っていただきました。ポカラの地でもさらに大きなビジョンキャンプの働きが導かれていきますようにお祈りください。

このレポートがネパールの祈りのために用いられれば幸いです。タンニャバ（ありがとうございます）。

RN（匿名希望）

アシュミタ・シレスタの日常生活

子供の名前　:アシュミタ・シレスタ　　**学　年　:4年生**
お父さんの名前:ライマン・シレスタ　　**お父さんの仕事:警備員**
お母さんお名前:アシャ・マヤ・シレスタ　　**お母さんの仕事:主婦**

アシュミタ・シレスタはNHAの4年生です。彼女は末っ子で、姉は12年生、兄は10年生に所属しています。父親は警備員で母親は主婦です。彼女を含め5人家族です。2008年8月8日、1年生の時にBFNの奨学生に選ばれました。彼女は優秀な生徒で教えられた科目をすぐに理解することができ、試験でもよい成績を修めています。

普段は朝6時に起床し、8時に就寝します。学校に行く準備を自分でし、10分歩いて学校に通います。学校は午前10時に始まり午後3時30分に終わります。学校から帰ると、お菓子を食べ、しばらく遊びます。遊んだ後は作文の宿題をします。宿題は自分1人でしますが、時々お姉さんが手伝ってくれます。水汲み、掃除、洗濯などの家の手伝いもします。一生懸命手伝いますが、時々両親に反抗的になることもあります。NHAで学び、BFNの奨学金をもらえることを大変喜んでおり、これからも一生懸命勉強すると言っています。里親から手紙や贈り物を受け取るのを喜び、感謝しています。

彼女の母親アシャ・マヤ・シレスタによると、アシュミタは家でも一生懸命勉強しているとのことです。家で時々頑固になることがありますが、勉強はよくできます。学校には休まずに通い、宿題はすべて自分で仕上げます。母親はアシュミタに勉強に関しては何も言う必要がありません。時々アシュミタは家事も手伝います。アシュミタの家族、アシュミタはBFNの奨学金を受けることを非常に喜び、支援してくださるスポンサーの方々に感謝の意を表しています。

アシュミタの母親は感謝の気持ちを次のように表しています。
「私の娘アシュミタに奨学金を与えてくださり日本のBFNの皆さまに非常に感謝しています。皆様の親切な支援のおかげで、娘がNHAというこのように素晴らしい学校で英語により学ぶことができ、とても嬉しく思います。皆様の娘に対する親切な支援を決して忘れることはありません。私には3人の子どもがあり、夫は警備員の仕事をしておりそれ以外の収入はありません。経済的な状況を維持するのは非常に難しいものでした。娘を皆様が支援してくださらなかったならば、娘をこのような素晴らしい学校に通わせることはできなかったでしょう。私は高い教育を受けていませんので日本のBFNの皆さまにどのように感謝の気持ちをお伝えしてよいのかわかりません。教育を受けていない私ですが、どうか皆さまが私の言葉を理解してくださいますように。親切な愛を私たちに与えてくださることを感謝します。ありがとうございます。」

アシュミタの担任の先生はアシュミタは良い生徒だと言っています。教えられたことをすぐに習得し、宿題や授業における課題を全てこなします。教室ではあまり話をしませんが、教室で質問されたことについてはよく答えてくれます。試験でもよい成績を修めています。全ての点において申し分ありません。

レポーター　PEN職員　**レッカ・マハリャン**

質問箱

質問:1　「賛助会員です。支援している子供からとても励まされています。もう一人、支援をしたいのですが。一人１名でないとだめでしょうか。 」

回答:　ありがとうございます。複数の子供を支援することができます。当初、子供の支援は、一人1名でした。BFNを結成した時、支援の方法や組織作りも全く手探りで始めました。その中で自分の家族にもう一人子供が生まれたように見守っていただきたいと願って一人1名と決めました。しかし、賛助会員の皆さまから複数支援を希望する声もあり、一人1名の子供の枠を外しても、子供の成長を暖かく見守っていただけるのではないか、むしろ積極的な志をありがたく受け止めた方が良いのではないか、と思うようになりました。よって、今年7月のBFNの理事会で複数支援を可能とすることに決めました。当初の趣旨を十分お含みのうえ、複数支援もよろしくお願い致します。

質問:2　「BFNの会員、スポット支援者は税制上の優遇措置を受けることができますか」

回答:　NPO法人への会費、寄付金等を支払った者が税制上の優遇措置(確定申告による税額または所得控除)を受けるためには、そのNPO法人が認定NPO法人である必要があります。認定NPO法人になるためには、社会的な支援基盤(パブリック・サポート)を確立していることが、条件のひとつになっています。これは、NPO法人の活動に要した資金のうちで、無償で与えられた資金が一定の割合以上または一定の人数以上あることが必要である、と言うことです。以下、BFNの場合で具体的に説明します。正会員は法人の運営に直接かかわるので、パブリック・サポートに認められません。賛助会員は会費に「対価性」(賛助会員でなければ受けることのできない特別な利益―「成長の記録」や子供からの手紙の受取)があるので、パブリック・サポートに認められません。スポット支援者はパブリック・サポートに認められますが、正会員、賛助会員と同一生計である者は認められません。BFNは現状においてはパブリック・サポート基準を満たしていないため、認定NPO法人になることができないので、会員、スポット支援者ともに税制上の優遇措置を受けることができない、と認識しています。ただし、賛助会費の対価性についての解釈は不明瞭なところが多いので、現在の認識が必ずしも確実であるとは言い切れません。この件に関しましては引き続き調査し、認定NPO法人への道を探っていきたいと思います。

ネパール豆知識（これって知ってた？）
トレッキングにパスポートがいる？

朝日に映えるアンナプルナ（2010.11.3）

１）山に登るには、トレッキング許可証(パスポート）がいる。
ネパールで、自由に歩くことができるのは、カトマンズ盆地、ポカラ、南部の諸都市、チトワン国立公園である。それ以外の山地に入るには、トレッキング許可証が必要となる。許可証は、山域ごとに異なり、入域できる場所は、非常に制限されている。ネパール国内では、まだ外国人立入禁止地域も多く存在するので、無計画に歩き回る事ができない。それゆえ世界の秘境である。

２）トレッキング許可証は有料である。
トレッキング許可証は個人単独では取得できない。トレッキング会社を通して2名以上のグループにのみ出される。有名な地域の許可料金は下記のとおりである。

①マナスル地域　75$～90$（ 1週間。シーズンにより異なる）
②アンナプルナ地域　7$（ 1週間。5 週目以降は週 14$ ）
③カンチェンジュンガ地域　10$（ 1週間。5 週目以降は週 20$ ）

３）トレッキングにはたくさんのネパール人スタッフが同行する。
トレッキングには、トレッカーを安全かつ快適にヒマラヤに案内するために役割別のネパール人が同行する。有名な地域は、ロッジも完備されているが、ガイドやポーターは必要である。現地では、スタッフをこのように呼んでいる。

①サーダー（ガイド頭）　トレッキングの中心となる人ですべてを取り仕切る。
②シェルパ（ガイド）　民族の名前であるが、今は色々な民族の人が働いている。サーダーを補佐し、キャンプ地の決定、テントの設営、ポーターの監督など。
③コック　料理人のことで調理や食料の管理を担当する。おいしい食事はコック次第。
④キッチンボーイ　コックの助手で食器の運搬、調理道具の管理。
⑤ポーター　荷物運搬人　数十キロの荷物を軽々運ぶ。
⑥サーブ　トレッカーのことで、ご主人さまの意味。軽リュックだけで歩く。

支援者状況　2011年度（2011年4月～2011年9月）　2011年9月30日現在

区　分	人数・件数	金　額	備　考
正　会　員	16名	入会金　10,000円 月　額　3,000円	
賛 助 会 員	84名	月　額　2,500円	
子供支援数	85名	月　額　2,500円	
スポット支援	18件	420,000円	

賛助会員、スポット支援募集中です。ネパールの子供たちのために皆様の暖かいご支援をお願いいたします。

新規に支援される子供たち　2011年度（2011年4月～2011年9月）　2011年9月30日現在

氏　名	性別・学年	氏　名	性別・学年	氏　名	性別・学年
ブラジン・マハリャン	男　5年生	ジャムナ・マハリャン	女　4年生	サリム・マハリャン	男　4年生
ジョジ・タパ	女　10年生	ススミタ・アディカリ	女　2年生		

新中期目標（5年計画）　2011年9月30日現在

	２０１０年	２０１１年	２０１２年	２０１３年	２０１４年	備　考
子供支援目標数	80名	85名	90名	95名	100名	年度末累計
（現支援数）	81名	85名				
スポット支援目標額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	単年度
（現支援収入額）	941,977	420,000				
（現年度支援額）	335,834	300,000	300,000	300,000	300,000	
（支援繰越額）	606,143	726,143				

＊支援繰越額は、年度支援額の不足に備えての繰越金です。

長期ビジョン積立金

新長期目標　2011年9月30日現在

	２０１０年	２０１１年	２０１２年	２０１３年	２０１４年	合　計
長期ビジョン積立金	454,500	247,000				701,500

＊大型バスや建物購入など大きな目標に向けての積立金です。
＊賛助会員費月額２，５００円のうち５００円を充当しています。
１）日本留学プロジェクト・・・ＮＨＡの優秀な学生を日本の学校に留学させる。
２）ソーラープロジェクト・・・ＮＨＡの屋上に全面ソーラーパネルを整備する。
３）経営安定プロジェクト・・・ＮＨＡの経営安定のため１５０名の賛助会員を目指す。
４）医療支援プロジェクト・・・ＮＨＡの子供たちのために医師、看護師の派遣を目指す。

NHAがホームページを開設しました　www.new.horizon-host.com

NHAのことをもっとリアルタイムで知りたいと願っていました。そんな思いに応えるかのようにNHAのホームページが11月に開設されました。とても良くできたホームページです。「ビジョンを持とう、心を開こう、考え方を変えよう」の基本理念が掲げられています。ピーター校長の挨拶、職員組織も写真入りで紹介されています。学校行事のカレンダーをクリックすれば、何とネパール独特のカレンダーが表示され、これにはちょっと驚きです。ボランティアの様子や卒業式、父母の会など普段の子供たちの様子も知る事ができます。ぜひとも一度、ご覧ください。ホームページのアドレスは、上記のとおりです。 BFNのホームページからもアクセスできます。